

乾癬性関節炎 | Unmet Need (US/EU)

2017年5月発刊

TNF 阻害剤によって乾癬性関節炎（PsA）治療で高い臨床基準が設定され、新規薬剤が満たすには困難なレベルである。しかし、新規薬剤数品目が近年 PsA 市場で進展し、初のインターロイキン（IL）-12/23 阻害剤、初の IL-17 阻害剤、及び初の経口ホスホジエステラーゼ 4 阻害剤が使用可能になった。低疾患活動性（MDA）の達成を目標に、リウマチ専門医は治療方針の決定に ACR20 や HAQ-DI 等の指標を使用する。また、大半の PsA 薬で感染症と悪性腫瘍のリスクが高まるため、薬剤関連の副作用をモニタリングする必要がある。

本報告書は、治療の主な推進力を特定し、処方医に注意を喚起させる安全性シグナルを議論し、新規薬剤の市場予測を行うためにリウマチ専門医の処方の根拠を再現するシミュレーションモデルを作成し、PsA 市場の未充足ニーズであるこれら 3 領域を明示します。

調査におけるキーポイント

- 治療の推進力とゴールは何か？
- どのような特性が主に処方に影響するか？限定的な影響を与えるのはなにか？何が未開拓の事業機会か？
- 治療の主な推進力とゴールに対し、既存薬はどう役割を果たしているか？
- 未充足ニーズと事業機会で何が主な領域か？
- 米国と欧州のリウマチ専門医は、仮説に基づく新規 PsA 薬に関し、様々な臨床的特性と薬価でどのようなトレードオフを受入れるか？

報告書の調査範囲

対象国： 米国、欧州

調査方法： 2016年12月、米国で61名、欧州で30名のリウマチ専門医に対しサーベイを実施しました。

主要企業： アッヴィ社、アムジェン社、バイオジェン社、セルジーン社、イーライリリー社、ヤンセン社、メルク社、ノバルティス社、ファイザー社

主要薬剤： Benepali、コセンティクス、エンブレル、ヒュミラ、オテズラ、レミケード、ステラーラ、トルツ、ゼルヤンツ